事業者向　放課後等デイサービス自己評価表

公表　令和7年　3月　1日
事業所名　日立市母子療育ホーム

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			ご希望の時間に合わせてサービス提供ができるよう調整しております。ご希望に沿えないこともありますが、一人一人に十分なサービス提供ができるよう調整をしておりますので、ご了承ください。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		構造上の問題で使いにくい場所もあるかと思います。太陽の家のトイレを使用することや、歩行器を使用して手を洗うなど、工夫をしながら使用していきます。気が付いた点がありましたら、随時お問い合わせ下さい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援計画の作成に関しては、療育担当・PT・STが介入しています。半年に1回、評価表を作成しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方には、1年に1回アンケートの依頼をしています。アンケート結果は、職員間で共有を図っています。業務改善に繋がるよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		定期定に第三者評価を受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職場内研修や、職場外研修も積極的に受けて、職員の質の向上に努めています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1年に1回程度、個別面談の中で、アセスメントを取らせていただいています。今後も、ご協力をお願い致します。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			機能訓練に関しては、PTを中心としたプログラム作成を行っています。集団療育の内容に関しては、職員間で計画立案をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子さんの成長に合わせて、支援内容を変更しています。必要に応じてOTの介入を行い、職員間でも共通理解を図っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			夏休み期間には、夏季日課を設けています。どなたも週に1回利用ができるよう検討しています。内容も、お子さんが楽しめるよう企画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			週に2回、午後の時間で集団療育を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			役割分担は、1週間前に行い、当日の朝に、流れの確認等を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか		○		申し送り事項は、翌日の朝会時に職員間で共通理解を図っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			訓練後には内容を記録に残しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「健康・生活」「人間関係・社会性」の5領域を含めた支援の提供を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当の職員や児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時にお子さんの様子伺いをさせていただきながら、学校と連携を図れるようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			診療情報提供書をかかりつけ医に書いてもらい、病院と連携を図りながら支援を行っています。保護者からの聞き取りもさせていただきながら、状況把握に努めています。医療的ケアの必要なお子さんも安心して通っていただけるよう、法人内にある看護部と協力して支援をしております。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援事業所の職員と一緒に、幼稚園やこども園に訪問させていただき、情報共有を図っています。就学に際して、必要な情報がある場合は、情報提供書を作成し、就学先に渡しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			上記のように、情報共有が必要な場合には、情報提供書を作成します。いつでも申し出て下さい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		相談が必要なケースがあった場合には、連携を取らせていただきます。研修等には積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は、年に1回の助川学区夏祭りで交流の機会があるのみですが、今後、機会をつくれるように検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	○	こども部会への参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お子さんや保護者から聞き取りの時間を設け、状況把握に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか		○		現在は、ペアレントトレーニングは行っておりません。肢体不自由児父母の会の相談会のなかで、講師のからからアドバイスをもらう機会はあります。また、家族支援の観点から、総合的に支援ができるよう努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			月2回、療育相談日を設けています。どなたでも相談が可能です。また、その他の時間も随時相談を受け付けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			可能な範囲で父母の会、保護者会への協力をさせていただいております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等があった際には、迅速に解決できるように努めております。苦情申し立て窓口や、第三者委員会、市･県の障害福祉課に相談が可能です。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回、ホームだよりを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			情報伝達のためのコミュニケーションツールを保護者や言語聴覚士と検討しながら視覚支援等を取り入れ、聴覚等に障害のあるお子さんも安心して利用ができるよう配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			現在は、助川学区夏祭りに参加しています。今後、地域の方と交流できる機会を増やせるよう検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			年に1回、マニュアルの見直しを行っています。災害対策も含め、職員間で会議を開き検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、避難訓練を実施しています。併せて、不審者訓練を年に1回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			管理者が研修に参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			危険がないよう、ベルトを着用させていただく場合があります。個別支援計画に記載し、お子さんや保護者にも説明をしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必ず、アレルギーの有無を聞き取ります。医師からの指示がある場合には、指示書に基づいて対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットは、法人全体で把握し、小さい危険も予防できるように努めています。